

第8回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会参加の皆様へ

以下の〈日程〉、〈競技上の注意と知っておいてほしいルールなど〉、〈連絡事項〉をよく読み、参加者名簿の内容に誤りがある場合は、末尾の連絡先に至急連絡してください。

〈日程〉

12月23日(土)	<u>男女予選 フラッシング方式(全員が2本のルートを登る)</u>
7時30分~8時50分	男女予選受付(ウォーミングアップおよびデモビデオ視聴可)
9時00分~9時30分	開会式(全員参加)
9時50分	男女予選競技開始 競技時間6分 男女各2ルート フラッシング方式 (クリーニング男子4回、女子3回予定)
16時30分	女子予選競技終了
17時30分	男子予選競技終了
12月24日(日)	<u>男女準決勝&決勝 オンサイト方式</u>
8時00分	男女準決勝受付開始・アイソオープン
8時30分	男女準決勝受付終了・アイソクローズ 観客席入場開始
8時40分~8時46分	男女準決勝オブザベーション(6分間)
8時50分	男女準決勝競技開始 競技時間6分 (男女同時進行・クリーニング1回)
11時00分	男女準決勝競技終了
11時10分	男女決勝進出者発表・男女アイソオープン
11時20分	男女アイソクローズ
12時30分	男女決勝選手入場・選手紹介(16名)
12時34分~12時40分	男女決勝オブザベーション(6分間)
12時45分	女子決勝競技開始 競技時間6分
13時35分	女子決勝競技終了
13時40分	男子決勝競技開始 競技時間6分
14時30分	男子決勝競技終了
15時00分	表彰・閉会式開始
15時30分	表彰・閉会式終了 解散

※時間はあくまで目安です。天候や当日の進行状況によって変更の可能性があります。

<競技上の注意と選手に知っておいてほしいルールなど>

予選

- ・予選は全員が2本のルートをフラッシングで登る形式です。アイソレーションを行わず、他の選手の競技を自由に見ることができます。
- ・開会式には選手全員が参加しますので、競技順の早い選手は早めに受付を済ませてウォーミングアップを行ってください。
- ・デモンストレーションはビデオ記録にて行い、受付開始後できるだけ速やかに、ウォーミングアップエリアにて上映します。
- ・ウォーミングアップ壁の使用とデモンストレーションのビデオ視聴は予選競技中に随時可能ですが、開会式の前は競技順10番目までの選手を優先します。
- ・開会式終了後、各ルートの競技順5番目までの選手は、競技に必要な荷物をすべて持って、競技場の最終待機場所の近くに、来てください。それ以降、自分の4人前の選手が競技を終了したら、最終待機場所に向かって競技の準備を行なってください。最終待機場所でも他の選手の登りを見ることはできません。
- ・選手は各自で競技の進行状況を把握し、遅れないように最終待機場所に来てください。
- ・競技の順番が来た時点で最終待機場所に居ない、または競技の用意ができていない場合には棄権とみなし、そのルートの成績は登った選手の最下位とします。2本のルートのうち1本だけ棄権し、もう1本のルートを登った場合は、棄権したルートの成績を最下位として2本のルートの総合成績を算出します。

準決勝・決勝

- ・アイソレーションへは最低限、以下のものを持参してください。
ハーネス、クライミングシューズ、チョーク、チョークバック、マット（シート）、食料、飲料
- ・携帯電話や外部との通信可能な機器類の持ち込みは禁止です。それらの機器類は、受付の前に引率者や保護者に預けてください。（主催者側でお預かりすることはできません）持ち込んだ携帯電話などが発見された場合には、即時に失格となる可能性があるので注意してください。
- ・選手は一度アイソレーションに入ると、それ以後は各自の競技終了まで主催者の管理下に置かれ、オブザベーション（ルートの事前下見）と、自分の競技時間以外はアイソレーションから出ることはできません。
- ・オブザベーションは競技開始前に選手全員で行なうルートの下見で、時間は6分間です。残り時間が1分の時点で、その旨が告げられます。
- ・オブザベーションの際は、スタッフの指示に従ってアイソレーション室から競技エリアに移動してください。その時、競技順3番目までの選手はそのまま競技エリア近くのコールゾーンに残るので、ハーネスを装着のうえ、すべての荷物を持って競技エリアに移動してください。
- ・オブザベーションは、定められた範囲の中で行い、台などがあっても、その上に登って行ってはいけません。双眼鏡の使用や手書きの記録は認められますが、カメラやビデオカメラなどの記録機器類の使用は禁止です。
- ・オブザベーション中に観客などと会話することは認められていません。ルートの内容などに関する会話を観客などに行った場合、即時に失格となります。選手同士の会話は問題ありません。
- ・オブザベーション終了後、競技順3番目までの選手はコールゾーンへ、それ以外の選手はアイソレーション室へ、スタッフの指示に従って移動してください。

共通

- ・競技時間は、予選、準決勝、決勝ともに6分を予定しています。
- ・残り時間はルートごとにデジタルタイマーで表示し、残り時間1分のコールは行いません。タイマーが見えにくい時などは、随時タイムキーパーに残り時間を聞くことができます。
- ・ハーネスは、メーカーが指定した方法で正しく装着してください。
- ・ロープをハーネスに結ぶ時は、必ず、二重8の字結びで行ってください。
- ・ルート中のクイックドローには、下から順番に、すべてにクリップしてください。クリップしなかった場合、そのカテゴリーの他のどの選手も足で引き寄せることなくクリップ可能な位置、もしくはチーフルートセッターがクリップ可能と判断した位置を越えた時点で競技中止となり、その時点までの最高到達位置が記録となります。また、あるクイックドローにクリップせずに次のクイックドローにクリップした場合は、その時点で競技中止となるので、注意してください。
- ・特定のクイックドローについて、指定されたホールド（およびその手前のホールド）を保持した時点でクリップすることが、マーキング（青十字など）で指示される場合があります。その場合は、クリップをせずに指定されたホールドを通過すると競技中止になり、指定されたホールドの保持が成績となります。
- ・Zクリップは、できるだけ安全な方法で速やかにかけ直してください。上下どちらのカラビナからロープを外してもかまいませんが、最終的にクリップしていないカラビナがあるまま登り続けることはできません。
- ・壁の左右と上端の縁を使用してはいけません。使用した時点で競技中止となり、その時点までの最高到達位置が記録となります。特にカウンターバランスで流した足が出て、フックするケースが多いので注意してください。また、上部可動壁のヒンジのあるくぼみの部分にも足が入りやすいので、よく注意してください。
- ・競技中に、ホールドの回転、ビレイヤーのロープ操作の不手際など、選手自身に起因しない要因によって競技に支障をきたした場合は、テクニカルインシデントを申し出ることができます。このテクニカルインシデントを主任審判が認めた場合は、インシデント発生までに要したムーヴ数×1分、最長20分を限度として休憩した後再度登ることが認められます。
- ・ホールドを取り付けるためにクライミングウォールおよびハリボテに開いている穴を手で使用することは禁止です。また、ホールド取り付けのためにホールドに開いている穴も、木ねじなどでホールドを固定してボルトが通されていない場合には使用禁止です。
- ・成績は、フォールもしくは競技中止時点で、手で保持していたホールドの最高到達位置によります。ルートがトラバースしている場合など、見かけ上は高度の低い位置のホールドに高い数字が与えられている場合もあります。
- ・あるホールドを手で持って安定した体勢を取るか、その体勢を制御し得た場合、そのホールドの「保持」となり、そのホールドに付けられた番号に末尾符号を付けずに成績を示します。
- ・あるホールドから、ルート上を登っていく上で有効な、制御された登攀動作（重心位置のあきらかな変化があり、かつ少なくとも片方の手を、ルートのライン上の次のホールドまたはルートのライン上の、より先にある他のホールドで、他の選手がそのホールドからのムーヴで保持したことがあるホールドに届くこと）を行った場合、そのホールドの「使用」と判断され、そのホールドに付けられた番号に+（プラス）の末尾符号を付けて成績を示します。
- ・完登は、最終のクイックドローにクリップして初めて成立します。最終ホールドを保持しても、最終クイックドローにクリップする前にフォールしたり、壁の上端をつかんだりした場合は完登とみなされません。

成績

- ・予選では、各ルートの順位をもとに、同着の人数を考慮してポイントを算出します。自分のそれぞれのルートのポイントは、次の式で計算できます。

$$\text{ポイント} = \text{順位} + (\text{自分以外の同着の人数} \div 2)$$

次に、2つのルートのポイントの相乗平均 (\sqrt{A} ルートのポイント \times B ルートのポイント) で総合ポイントを計算し、総合ポイントが小さい方が上位になります。

- ・準決勝、決勝で同着が出た場合には、前のラウンドの成績を考慮（カウントバック）して順位を決定します。
- ・カウントバックによっても決勝に同順位が生じた場合には、決勝の時間記録（アテンプト開始時から終了時まで）の短い選手を上位とします。
- ・リザルトの速報は JMCSA のトップページ
(<http://www.jma-sangaku.or.jp/>) にリンクを置きますので、そこから確認することができます。

【重要】

本協会では、世界アンチ・ドーピング規程に従い、親権者からの「同意書」を得ることとなりました。まだ未提出の選手は、別紙「未成年競技者親権者 同意書」に署名・捺印のうえ、速やかに以下へ郵送にてご提出ください。

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館4階
日本山岳・スポーツクライミング協会内 アンチ・ドーピング委員会 宛

<連絡事項>

- ・参加者名簿を確認してください。都道府県名、学校名、氏名、フリガナに誤りのある場合には、下記連絡先まで速やかにご連絡ください。
- ・予選競技順（暫定）は、大会前日までに（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会、全国高体連登山専門部、日本フリークライミング協会の各Webサイトにて発表します。キャンセルなどによって変更の可能性がありますので、最終的な競技順は大会当日の連絡に従ってください。
- ・体育館は土足禁止ですので、上履きをご用意ください。
- ・競技中および開・閉会式には、選手はチームウェアまたはそれに準ずる、競技者にふさわしい服装で臨んでください。
- ・大会終了時刻は当日の競技進行によって流動的ですので、帰りの交通機関を予約される場合には、時間に十分な余裕を持ってください。
- ・開会式については、受付時に配布する座席表により各選手の座席をご確認ください。
開会式前に体育館エントランスに各都道府県プラカードを先頭に集合の後、係員の誘導の下で入場します。
- ・観戦エリアからの写真撮影では、望遠レンズ（135mm を超える）のご使用をご遠慮いただいております。また、三脚、一脚のご使用場所については、当日配布および掲示する会場図の指示に従ってください。

<連絡先> 【注意】アンチ・ドーピング「未成年競技者親権者 同意書」の宛先ではありません。

〒272-0835 千葉県市川市中国分2-10-1

千葉商科大学付属高等学校内

第8回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会事務局 担当 樽 正人

TEL 047-373-2111 FAX 047-371-8146 Email zssc-info@climbing-chiba.org

未成年競技者 親権者 同意書

私、【親権者氏名】 (ふりがな) は、

【20歳未満の競技者】 (ふりがな) (以下「甲」) の親権者として、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (以下、「JADA」) に加盟している競技団体に登録するすべての競技者 (甲を含む) に、世界アンチ・ドーピング規程、各種国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程 (以下「AD規程等」といいます。) が適用されることを理解します。

更に、ドーピング検査や検体分析、結果管理その他の AD 規程等において定められる一連の手続 (以下「ドーピング・コントロール手続」といいます。) の内容および JADA 公式ウェブサイト内「特設サイト→未成年の方へ」の内容を理解し、甲に当該内容を理解させます。

また、甲がドーピング検査の対象となり、採取検体の種類を問わずドーピング検査を受けることに同意し、ドーピング・コントロール手続に服することに対して異議を申し述べません。また、AD 規程等が随時更新されることも理解します。

本同意は、甲が満 20 歳となるまで有効とし、本人が 20 歳になるまでの間に親権者が私以外にかわった場合には遅滞なく私から貴団体に通知し、新たな親権者から同意を得ることを誓約します。

なお、ドーピング・コントロール手続においては、2015 年 1 月 1 日発効の AD 規程等で定義されている通り、18 歳未満の者を未成年 (Minor) として扱うものとし、18 歳、19 歳については、原則として、成人と同様の手続にてドーピング検査をはじめとするドーピング・コントロール手続が実施される旨も理解いたしました。

また、私は、私及び甲に関する個人情報並びに本同意書を、ドーピング・コントロール手続に使用する目的で、JADA、その他のアンチ・ドーピング機関及びその関係団体に提供することに同意します。

平成 年 月 日

【親権者】

住所: _____

自署: _____ 印

上記内容について確認いたしました。

【競技者】 (甲)

競技名: スポーツクライミング (リード)

住所: _____

自署: _____ 印

生年月日: 西暦 年 月 日